

Briefing Transcription

|| 2026 年 6 月期 中間期決算説明文字起こし ||

株式会社タウンズ

197A 東証スタンダード市場

企業情報はこちら >>>

2026 年 2 月 19 日 (木)



FISCO Ltd.

<https://www.fisco.co.id>

■ 目次

■ 2026 年 6 月期中間期決算を受けての FISCO アナリストコメント	-----	1
■ 決算説明	-----	2

■ 2026 年 6 月期中間期決算を受けての

F I S C O アナリストコメント

・タウンズは高い製品競争力、再現性のある開発を可能にする強固な開発体制、効率的な販売体制に強みを持つ。特に、販売においては塩野義製薬との協働（コ・プロ）で感染症対策において「予防→検査→治療」まで一気通貫のソリューションを提供し、ロシュとの販売提携（コ・マーケ）も稼働しており、主要呼吸器感染症の医療機関向け国内抗原検査キット市場におけるシェアでは、インフルエンザ、アデノウィルス、新型コロナで引き続きシェア1位、新型コロナ/インフルエンザコンボでもシェア3位を獲得している。

・2026年6月期第2四半期は累計の売上高で前期比30.9%減の8,276百万円、営業利益で同50.3%減の3,252百万円と大幅減収減益となった。ただし、10-12月期に限っては、営業利益こそ人員増強や運送費の高騰などの影響で前年同期比3.2%減の2,704百万円となったものの、売上高で前年同期比6.2%増の5,908百万円と10-12月期としては過去最高を記録している。第1四半期に新型コロナ、インフルエンザとともに流行規模が大幅に縮小した状況から一転した。市中在庫の消化局面が解消し、インフルエンザは例年より早い9月下旬から流行期入りした。同社シェアも総じて堅調な推移となっている。

・足もとで過去最高の売上高を更新したことや、足元でインフルエンザや新型コロナの流行が続いていることなどから、2026年6月期予想は売上高で前期比11.5%増の20,769百万円、営業利益で同0.7%増の8,323百万円と増収増益で据え置き。

・2030年6月期を最終年度とする中計は、売上高がCAGR+10.0%の30,700百万円、営業利益が同+9.5%増の12,980百万円、ROE25%以上、28円を起点とする累進配当を導入が目標となる。類似企業と目される栄研化学<4549>のPERは22.38倍、配当利回り2.27%、ROE5.0%に対して、タウンズのそれは6.70倍、5.01%、40.7%であり、株価で2~3倍でも釣り合う。中計最終年度で市場平均15倍まで買われても株価は2倍超である。今回のように業績が大きく振れるのは懸念材料であり、それを許容しない投資家も一定数存在したのだろうが、その分だけ配当が高く、しかも累進とあって、株価の下支えとして機能することも確認できた。

■ 決算説明



01. 会社・事業概要	P.02
02. 2026年6月期第2四半期（中間期）決算概要	P.11
03. 2026年6月期 業績予想	P.22
04. 最近のトピックス	P.28
05. Appendix.	P.31

会社概要

社名	株式会社タウンズ [英語名: TAUNS Laboratories, Inc.]		
代表者	代表取締役社長 野中 雅貴		
創業年月 設立年月*	1987年4月 2016年4月 (*グループの再編に伴う現法人の設立年月)		
本社所在地	静岡県伊豆の国市神島 761 番 1		
資本金 (2025年12月31日時点)	392百万円		
役員構成 (2025年12月31日時点)	代表取締役社長 野中 雅貴 取締役 内山 義雄 取締役 永井 淳平 取締役 伊藤 政宏	社外取締役 社外取締役 監査役 社外監査役 社外監査役	三品 聡範 千葉 理 遠藤 佳孝 中川 真紀子 Caroline F. Benton
株主構成 (2025年12月31日時点)	CITIC CAPITAL JAPAN PARTNERS Ⅲ, L.P. 39.20 % 野中 雅貴 29.35%		
事業内容	体外診断用医薬品、研究用試薬等の開発、製造及び販売・輸出入 主要製品は感染症の抗原検査キット		
売上規模	18,627百万円 (2025年6月期)		
従業員数	378名 (2025年12月31日時点)		
総資産	44,198百万円 (2025年12月31日時点)		
拠点	本社・神島工場、富士山三島工場、清水町事業所・R&Dセンター、東京オフィス		
子会社	クレアポ・テクノロジーズ株式会社		
主な取引先	スズケン、ロシュ・ダイアグノスティクス他		



本社・神島工場



清水町事業所・R&Dセンター



富士山三島工場 (2026年2月2日本格稼働開始)

©TAUNS Laboratories, Inc.

3

経営理念

私たちタウンズは、独自の体外診断用医薬品により、人々の生活に安心と潤いを届けます。
そのために、技術・知識を集積し、新たな製品の開発、品質改善に取り組み続けます。

診断技術で、安心な毎日を。

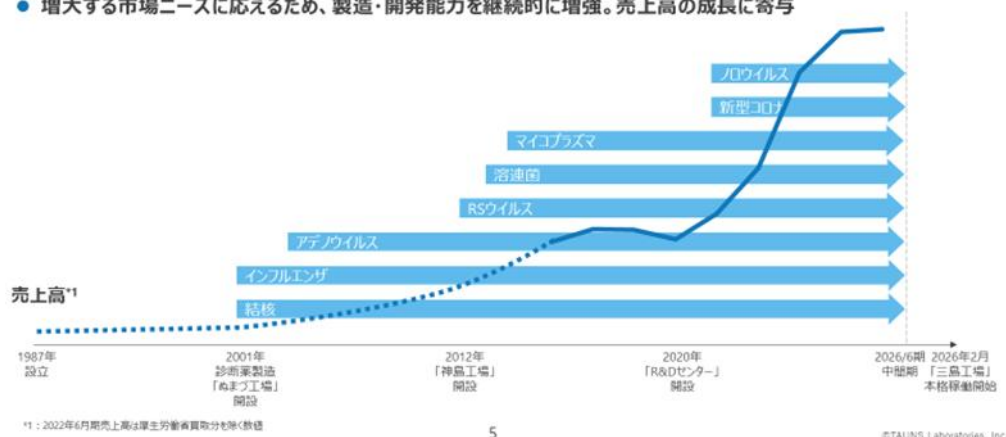
何気なく過ぎていくあたりまえの毎日も。
いつもとは違う特別なひとときも。
支えているのは、揺るぎない安心。
私たちタウンズは、独自の診断技術を追求め、
疾病の診断、早期発見のお手伝いをしています。
ひとひとりの不安を取りのぞくことで、
世界中で未来への見通しをよくすることで、
安心な毎日を支え続けます。

©TAUNS Laboratories, Inc.

4

沿革

- 2000年代初頭から、豊富な抗原検査のラインナップを順次展開
- 増大する市場ニーズに応えるため、製造・開発能力を継続的に増強。売上高の成長に寄与



事業内容

- 主に、感染症臨床検査用の抗原検査キットを開発・製造。インフルエンザを始め、アデノウイルスや新型コロナウイルスなど多くの感染症項目において「イムノエース」ブランドの製品を展開

主な製品群

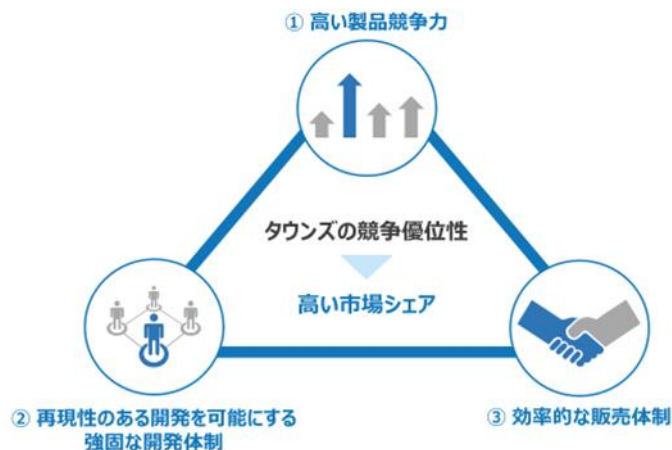
感染症領域



6

©TAUNS Laboratories, Inc.

タウンズの3つの競争優位性

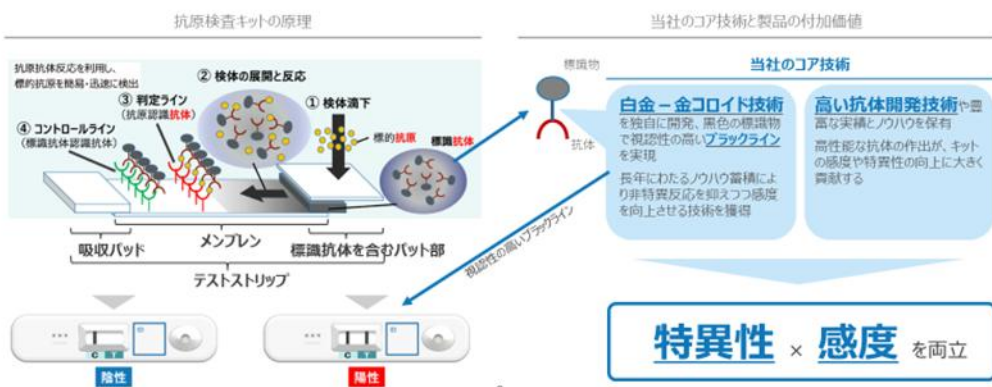


7

©TAUNIS Laboratories, Inc.

抗原検査キットの原理・当社技術の強み

- 数多くの自社抗体の開発実績（特許化含む）や、独自技術である白金－金コロイドなど高い技術力を有する
- 技術力を活かし、特異性と感度を両立した高品質な製品を開発。さらには複数感染症間の幅広い検体共用の実現など、医療現場と患者双方にとって価値の高い製品を供給している



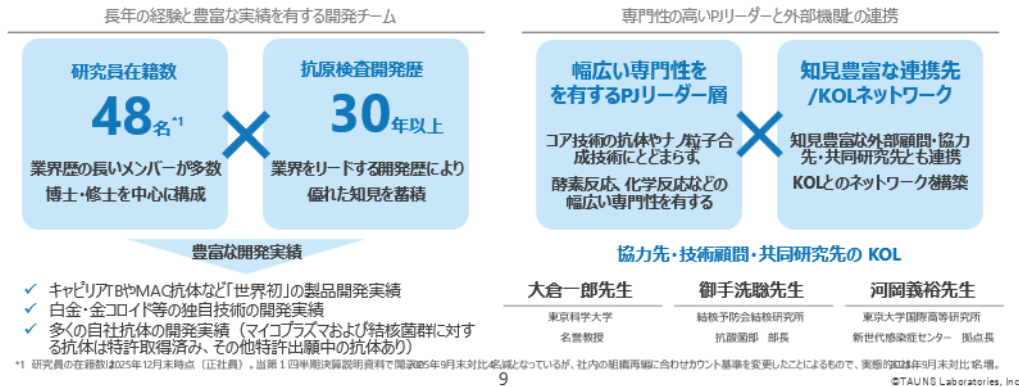
8

©TAUNIS Laboratories, Inc.

株式会社タウンズ | 2026 年 2 月 19 日 (木)
197A 東証スタンダード市場 | <https://www.tauns.co.jp/investors/>

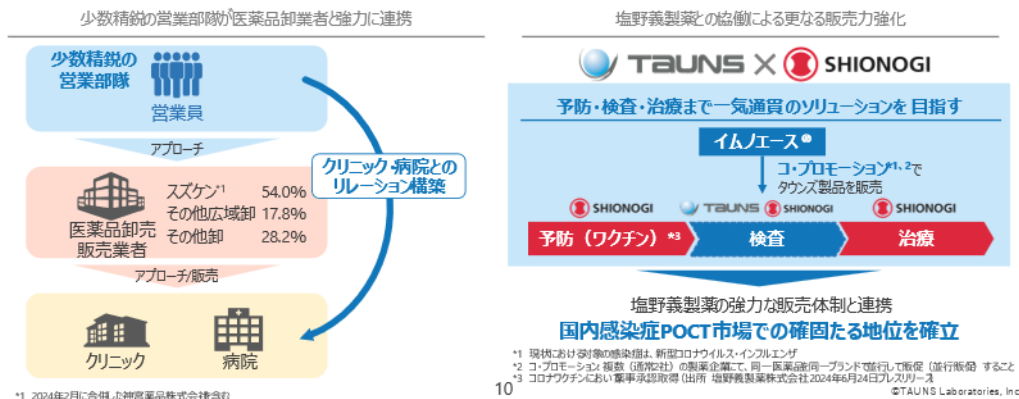
再現性のある開発を可能にする強固な開発体制

- 豊富な業務経験と高度かつ多様な専門性を有する開発チームが、開発活動を牽引
- 長年の研究開発を通して社内に蓄積されたノウハウに加え、社外からも知見を得ることで迅速かつ革新的な開発を実現



商流と営業体制

- 少数精鋭の営業員が、卸業者と強固な協力関係を構築。主要な感染症抗原検査キットで国内トップクラスのシェアを獲得
- 塩野義製薬との協働（コ・プロ）により、感染症対策において「予防 → 検査 → 治療」まで一気通貫のソリューションを提供。クリニックに強い塩野義の販売力と、病院に強い当社営業員のシナジーにより、国内感染症 POCT 市場での地位を更に強固にする
- 加えて、ロシュの販売提携（コ・マーク）により、コンボ検査キットを中心にさらなるシェアアップを図っている



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読みください。

Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document



01. 会社・事業概要	P.02
02. 2026年6月期第2四半期（中間期）決算概要	P.11
03. 2026年6月期 業績予想	P.22
04. 最近のトピックス	P.28
05. Appendix.	P.31

2026年6月期第2四半期（中間期）ハイライト

- ✓ 当中間期における抗原検査キットの市場規模推計値は、前年同期比で、新型コロナ単品検査キットは約3割減少、インフルエンザ検査キットは約1割増加、新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットはほぼ同等であった。新型コロナ単品検査キットの市場規模減少は、新型コロナの流行規模が定点ベースで約3割減少した影響によるものと思料
- ✓ 当社の主要製品の市場シェアは、当中間期において概ね堅調に推移した
- ✓ 前年同期においては年末に向けた卸売業者の在庫確保により市中在庫が急増したのに対し、当中間期においては逆に市中在庫の消化が進んだ。この影響により、市場規模が堅調に推移したインフルエンザ検査キットや新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットにおいても、当社製品の売上高は前年同期比で減少した。当社の新型コロナ単品検査キットの売上高は前年同期比44.5%減、インフルエンザ検査キットの売上高は同23.3%減、新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットの売上高は同26.5%減となった
- ✓ この結果、当中間期の売上高は8,276百万円（前年同期比30.9%減）、営業利益は3,252百万円（同50.3%減）、経常利益は3,146百万円（同51.8%減）、中間純利益は2,060百万円（同56.0%減）となった
- ✓ 一方で、市中在庫の消化局面は当第1四半期末頃までに概ね完了したことなどから、当第2四半期の四半期売上高は5,908百万円（前年同期比6.2%増）となり、第2四半期として過去最高を更新した

2026年6月期第2四半期(中間期)の業績

- 当中間期の売上高は前年同期比30.9%減の8,276百万円となった。これは、新型コロナ単品検査キットの市場規模が前年同期を約3割下回ったことや、前事業年度において卸業者が確保した当社の抗原検査キットの市中在庫の消化局面が当第1四半期末頃まで継続したことなどが、当中間期における当社の抗原検査キットの売上高を押し下げたものである
- 売上高の減少により、売上総利益は前年同期比35.4%減、営業利益は同50.3%減、経常利益は同51.8%減、中間純利益は同56.0%減となった。各段階損益率も前年同期を下回った

(百万円)	2024/6期中間期		2025/6期中間期		2026/6期中間期		
	実績	利益率	実績	利益率	実績	利益率	前期比
売上高	11,617	-	11,981	-	8,276	-	-30.9%
売上総利益	7,932	68.3%	8,720	72.8%	5,630	68.0%	-35.4%
営業利益	5,854	50.4%	6,538	54.6%	3,252	39.3%	-50.3%
経常利益	5,877	50.6%	6,525	54.5%	3,146	38.0%	-51.8%
当期利益	4,219	36.3%	4,686	39.1%	2,060	24.9%	-56.0%
EBITDA	6,192	53.3%	6,888	57.5%	3,641	44.0%	-47.1%

13

©TAUNS Laboratories, Inc.

主要製品別の売上高(2026年6月期第2四半期(中間期))

- 市中在庫消化の影響に加えて、市場規模が大きく縮小した新型コロナ単品検査キットは、前年同期比44.5%減と、大きく売上高を落とした
- その他の主要製品も、市中在庫消化や市場規模の影響などにより、前年同期比で売上高を落とした

(百万円)	2024/6期中間期		2025/6期中間期		2026/6期中間期		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前期比
新型コロナ単品検査キット	3,043	26.2%	3,945	32.9%	2,191	26.5%	-44.5%
新型コロナ/インフルエンザ コンボ検査キット	4,210	36.2%	4,579	38.2%	3,366	40.7%	-26.5%
インフルエンザ検査キット	2,689	23.1%	2,080	17.4%	1,598	19.3%	-23.2%
その他(アデノ・溶連菌、RSなど)	1,674	14.4%	1,375	11.5%	1,120	13.5%	-18.5%
合計	11,617		11,981		8,276		-30.9%

14

©TAUNS Laboratories, Inc.

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項(ディスクレマー)をお読みください。

Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document

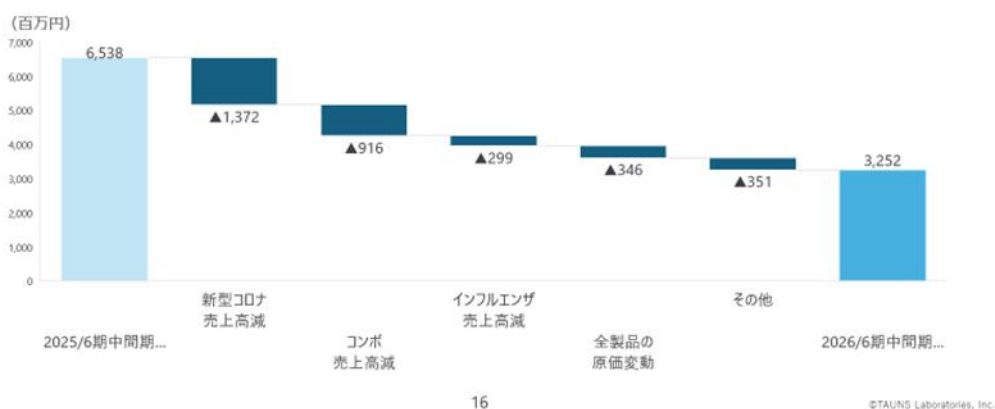
前期比売上高の増減要因

- 売上高減少の主因は、新型コロナ単品検査キット、並びに、新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットの売上数量の減少である
- 販売単価の下落は、期初想定範囲内に収まっている



前期比営業利益の増減要因

- 新型コロナ単品検査キット、並びに、新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットの売上高が大幅に減少したことにより、営業利益は減益となった



四半期毎売上高・営業利益推移

- 当第2四半期の四半期売上高（10月～12月）は、前年同期比6.2%増の5,908百万円と、第2四半期としては過去最高となった
- 一方で、人員増強や運送費の高騰などの影響により、販売管理費が前年同期比で195百万円増加した。この結果、当第2四半期の営業利益は同3.2%減の2,704百万円となった



17

©TAUNS Laboratories, Inc.

主要製品別の売上高 四半期間（10-12月）

- 例年より早い9月下旬からインフルエンザの流行が始まったこと、および、新型コロナウイルスの流行が一定程度続いたことなどにより、当第2四半期においては新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットの売上高が前年同期比で伸長した。新型コロナ単品検査キットも前年同期比で売上高を伸ばした
- 一方で、インフルエンザ検査キットは、前年同期においては年末に向けて市中在庫が急増したことに伴い売上高が高水準となっていた。これに対して、当第2四半期においては市中在庫は安定的に推移したことから、前年同期比で売上高は減少した

(百万円)	2024/6期2Q		2025/6期2Q		2026/6期2Q	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比
新型コロナ単品検査キット	668	14.3%	661	11.9%	961	16.3%
新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キット	1,730	37.0%	2,565	46.1%	2,992	50.6%
インフルエンザ検査キット	1,402	30.0%	1,679	30.2%	1,418	24.0%
その他	871	18.6%	654	11.8%	536	9.1%
合計	4,673		5,561		5,908	

18

©TAUNS Laboratories, Inc.

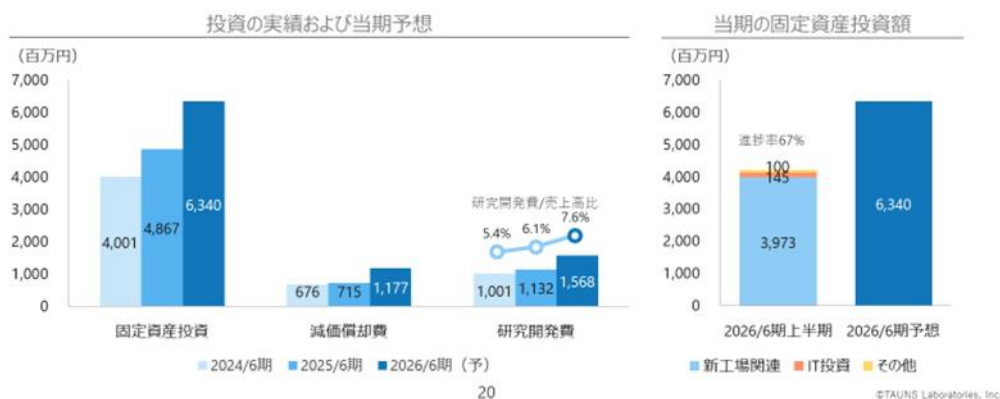
在庫水準の推移

- 当第2四半期中の抗原検査キット需要増により、当第2四半期末の在庫水準は低下したものの、第3四半期以降の抗原検査キット需要に向けて、必要十分な在庫水準を確保している



投資の状況

- 当期の固定資産投資額は、63.4億円を見込む
- 新工場関連の設備投資が大半であり、ERPなどのIT投資、業務提携を目的とした出資、設備更新などの必要な投資に取り組んでいる



貸借対照表

(百万円)	2025/6期中間期	2025/6期	2026/6期中間期	(百万円)	2025/6期中間期	2025/6期	2026/6期中間期
流動資産	19,568	15,476	18,908	流動負債	10,820	9,529	13,148
現金及び預金	7,573	9,266	4,255	買掛金	1,348	1,199	1,068
売掛金	6,793	247	7,207	短期借入金	4,500	4,500	7,500
商品及び製品	2,319	3,043	3,598	1年内返済予定の長期借入金	732	1,114	1,783
仕掛品	1,263	1,515	1,592	未払法人税等	1,937	842	898
原材料及び貯蔵品	1,421	1,324	1,241	未払消費税等	123	101	0
その他	198	78	1,012	その他の流動負債	2,179	1,771	1,898
固定資産	16,444	21,038	25,290	固定負債	8,901	9,567	13,643
有形固定資産	11,768	12,279	15,524	長期借入金	8,083	8,809	12,868
無形固定資産	3,827	3,836	3,790	繰延税金負債	619	556	555
投資その他の資産	848	4,922	5,975	その他の固定負債	199	202	219
資産合計	36,012	36,515	44,198	負債合計	19,721	19,097	26,792
				純資産合計	16,291	17,417	17,405
				負債純資産合計	36,012	36,515	44,198

*1 投資その他の資産の増加は、投資有価証券の増減によるもの

21

©TAUNS Laboratories, Inc.

INDEX

01. 会社・事業概要	P.02
02. 2026年6月期第2四半期（中間期）決算概要	P.11
03. 2026年6月期 業績予想	P.22
04. 最近のトピックス	P.26
05. Appendix.	P.31

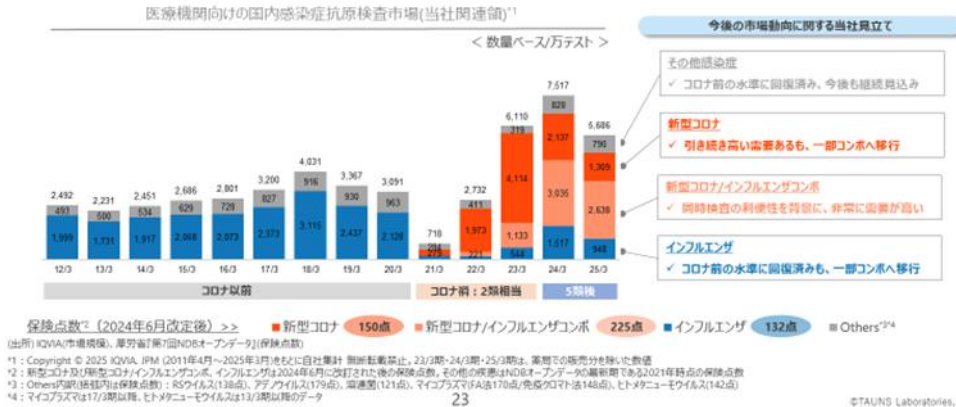
22

©TAUNS Laboratories, Inc.

株式会社タウンス | 2026年2月19日(木)
197A 東証スタンダード市場 | <https://www.tauns.co.jp/investors/>

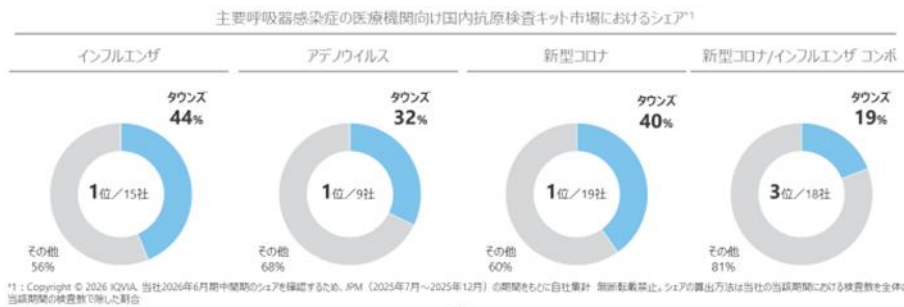
コロナ禍を経て拡大した、医療機関向け国内抗原検査市場

- 医療機関向けの国内抗原検査市場規模は、コロナ禍前はインフルエンザを中心に年間30百万テスト前後で推移
- コロナ禍を経て新型コロナ単品・コンボの検査が定着したことで、市場規模は24/3には年75百万テストと大幅拡大した。25/3においては流行規模が下振れし、またコンボ検査へのシフトが進んだことから、単品検査の市場規模は縮小した



市場シェアと拡大余地

- インフルエンザ、アデノウイルス及び新型コロナの各検査キットは、トップシェアを堅持
- 当社の新型コロナ/インフルエンザコンボ検査キットの市場シェアは堅調に推移しているものの、競合他社のシェアの伸長により前期の2位から3位へ後退している。今後に向けては、ロシュとの販売提携効果や改良品のローンチにより、シェア向上を図る



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読みください。
Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document

業績予想

- 2026年6月期通期業績予想については、当第1四半期の売上高は前年同期を下回ったものの、当第2四半期の四半期売上高は第2四半期として過去最高を更新したことや、足元でインフルエンザや新型コロナの流行が続いていることなどから、2025年8月13日に公表した業績予想を据え置き
- 特別利益として新工場に係る補助金収入を見込む

(百万円)	25年6月期 予想 ①	25年6月期 実績 ②	26年6月期 予想 ③	増減 ②/③	利益率
売上高	19,273	18,627	20,769	111.5%	-
営業利益	8,308	8,265	8,323	100.7%	40.1%
経常利益	8,316	8,219	8,143	99.1%	39.2%
当期利益	6,019	6,315	8,613	136.4%	41.5%

25

©TAUNIS Laboratories, Inc.

業績予想の進捗

- 当第1四半期末頃まで続いた市中在庫の消化局面の影響や、新型コロナの流行規模縮小の影響などにより、当中間期の売上高の通期予想に対する進捗率は39.8%に留まっている。一方で、当第2四半期の四半期売上高は第2四半期として過去最高を更新し、また、足元ではインフルエンザや新型コロナの流行が続いている

(百万円)	2025/6期			2026/6期		
	通期実績	中間期実績	進捗率	通期予想	中間期実績	進捗率
売上高	18,627	11,981	64.3%	20,769	8,276	39.8%
営業利益	8,265	6,538	79.1%	8,323	3,252	39.1%
経常利益	8,219	6,525	79.4%	8,143	3,146	38.6%
当期利益	6,315	4,686	74.2%	8,613	2,060	23.9%

26

©TAUNIS Laboratories, Inc.

株主還元

- 当社は2026年6月期以降において28円を起点とした累進配当を導入しており、これに伴い、中間配当と期末配当の金額の配分について、従来の方針を昨年11月に変更している

(円)	中間配当	期末配当	年間配当	備考
2024/6期	6.00	21.75 ^{*1}	27.75 ^{*1}	東証スタンダード市場への上場を記念して、1株当たり11円10銭の特別配当を実施
2025/6期	6.00	22.00 ^{*2}	28.00 ^{*2}	当社設立10期目を迎えるため、期末に1株10円00銭の周年記念特別配当を実施予定
2026/6期 (2025年8月13日 発表予想)	6.00	22.00	28.00	26年6月期から開始する中期経営計画期間において28円を起点とする累進配当を導入
2026/6期 (2025年11月14日 修正予想)	14.00	14.00	28.00	修正予想。年間配当は不変

^{*1}: うち、上場記念配当11.10円
^{*2}: うち、法人設立10周年記念配当10.00円を予定

27

©TAUNS Laboratories, Inc.

INDEX

01. 会社・事業概要	P.02
02. 2026年6月期第2四半期（中間期）決算概要	P.11
03. 2026年6月期業績予想	P.20
04. 最近のトピックス	P.28
05. Appendix.	P.31

28

©TAUNS Laboratories, Inc.

株式会社タウンス | 2026 年 2 月 19 日 (木)
197A 東証スタンダード市場 | <https://www.tauns.co.jp/investors/>

直近の投資案件 クレアボ・テクノロジーズ 会社・案件概要

会社概要		案件概要	
名称	クリアボ・テクノロジー株式会社	<ul style="list-style-type: none">出資内容：クリアボ・テクノロジーの発行済株式の100%を取得取得価額：83百万円持株比率：100%	
代表取締役 CEO兼社長	山田 理一		
事業内容	<ul style="list-style-type: none">SaMD(Software as a Medical Device)や、AI等の先進的技術を活用した医療機器・サービスの開発、製造、販売・貸与、輸出入その他医療機器及びヘルスケア関連商品の開発、製造、販売・貸与、輸出入		
技術・製品の 強み・特徴	<ul style="list-style-type: none">国内外SaMDベンダーとの提携による先進的な製品のソーシング力と開発パイプラインSaMDのソーシング、申請、販売まで一気通貫型のビジネスモデル先進的なSaMDのパイプライン臨床現場での利用を促進するワークフロー設計全国をカバーする医療機器販売ネットワーク	提携の狙い	
設立年月日	2020年4月	目的：先進的なSaMDを当社の事業ポートフォリオに取り込むことによる、慢性疾患領域や画像診断領域などの新たな事業領域への進出	
従業員数	16名（2025年12月時点）	クリアボへの期待：海外SaMDベンダーとの強固なネットワーク、SaMDの目利き力、先進的なSaMDのパイプライン、日本におけるSaMDの申請・販売経験	
所在地	東京都中央区日本橋小網町11-4 BizFeel茅場町5F	タウンズの役割：タウンズ販路を活用したSaMDの拡販、診断技術とSaMDの融合	
		短期での取り組み： <ul style="list-style-type: none">新規SaMDの認証取得・保険収載日本でのSaMD普及に向けた学術・販促活動	
		中・長期での取り組み： <ul style="list-style-type: none">中期経営計画に掲げるデータ活用基盤との連携（日本発のSaMD開発へ）新たな領域向けのSaMDローンチ	
		29	
		©TAUNS Laboratories, Inc.	

直近の投資案件 EMC Healthcare 会社・案件概要

会社概要		案件概要	
名称	EMC Healthcare株式会社	<ul style="list-style-type: none">出資内容：8種優先株の引受出資額：非開示持株比率：非開示 <div>提携の狙い</div>	
代表取締役	伊達 仁人		
事業内容	<ul style="list-style-type: none">介護プラットフォーム事業保育DX事業デバイス、AIアルゴリズム、ソフトウェアの開発コンサルティング事業		
技術・製品の強み・特徴	<ul style="list-style-type: none">デバイス開発、データ解析、アルゴリズム開発、ソフトウェア開発まで一気通貫型のビジネスモデル実証データに基づくプロダクト設計PHR/EHR 連携を想定したデータ基盤	<p>目的：診断技術及び臨床検体データ（Wet）と、医療・介護データ基盤（Dry）の融合による、データ駆動型の個別化医療及び包括的ケアの実現</p> <p>EMC Healthcareへの期待：PHRデータ基盤、RWD管理、AI解析、臨床でのPoC</p> <p>タウンスの役割：高品質の検査技術の提供、臨床検体データの収集</p> <p>短期での取り組み：</p> <ul style="list-style-type: none">✓ バイオバンクなどで活用するWet-Dry統合型のデータベース開発 <p>中・長期での取り組み：</p> <ul style="list-style-type: none">✓ 特定の疾患のリスク評価、疾患クラスター分析、重症化シミュレータなどのデジタルツールの開発✓ SaMDとしての認証取得	
設立年月日	2017年2月		
従業員数	21名（2025年12月時点）		
所在地	東京都千代田区神田駿河台1丁目7-10 ACN御茶ノ水ビル6F		

30

©TAUN/INS Laboratories, Inc.

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読みください。

Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document

重要事項（ディスクレーマー）

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報及び指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為及び行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、フィスコは本レポートの内容及び当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受け、企業から報酬を受け取って作成されています。本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポート及び本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文及びデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポート及びその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは強く禁じられています。

フィスコ及び関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062東京都港区南青山5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（IRコンサルティング事業本部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp